

# 2021 年度事業報告

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション(BA)

## 1. 事業の成果

2021年度も新型コロナウイルスによる大きな影響が残る中で、ブロードバンド・アソシエーション(BA)では一昨年から定着してきたオンライン会議やライブ配信を活用することで、主要な活動はほぼ年度計画に沿って実施することができました。

2004年度から開始した「ブロードバンド特別講演会」は、6月の第35回は「ポストニューノーマル時代の日本のデジタル変革」をテーマに、また12月の第36回では「日本発デジタルレガシーへの挑戦～TOKYO2020で育んだ新技術～」をテーマに明治記念館からのライブ配信で実施しましたが、多くの参加者を集め好評でした。

また昨年からはライブ配信のみで実施している「BAエグゼクティブサロン」は、予定通り年間9回実施することができました。なお「映像配信ビジネス研究会」及び「BAクリエイターズサロン」は新型コロナウイルスの影響で VIPO の稼働が空かず、2年連続で活動できませんでした。

2013年12月に設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム」は、「デジタルの日」の趣旨に賛同したイベントとして10月13日に「今後のローカル 5G の普及推進について」と題し第13回をライブ配信で開催しました。また昨年立ち上げた「ローカル5G普及研究会」は、4月から6月にかけて「特別研究会」を4回開催したほか、第4回～第6回の「ローカル5G 研究会」を開催するなど多くの会員が参加して情報共有を図りました。さらにローカル5G を普及させるための課題を検討する「アドホック WG」を立ち上げる等活発な活動を継続しております。

一方、一昨年10月の「第12回公開フォーラム」を受けて立ち上げる予定であった「高齢者生活ICT支援サービス研究会」は、その後も医療・健康分野の課題/テーマに関する議論・検討を続けてきたものの、最適なテーマ・パートナーが見つからず研究会の立ち上げには至りませんでした。

## 2 事業実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の実績(千円)
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営1	「ブロードバンド特別講演会」	6月21日	明治記念館	9名	会場31名 ネット配信:1,415名(延べ) (ライブ配信:902名、オンデマンド:513名)	3,621
	「第35回ブロードバンド特別講演会」(「ポストニューノーマル時代の日本のデジタル改革」) ・特別講演:三輪昭尚氏(内閣情報通信政策監:政府におけるデジタル改革への取り組みについて) ・基調講演:吉本和彦氏(地方公共団体情報システム機構 理事長:自治体 DX の現状と未来) <パネルディスカッション> ・モデレーター:関口和一氏((株)MM 総研代表取締役 所長、元日経新聞社論説委員) ・パネリスト:三輪昭尚氏、吉本和彦氏、中尾彰宏氏(東京大学教授「ローカル5G普及研究会」委員長)、岩崎尚子氏(早稲田大学電子政府・自治体研究所教授、NPO 法人交際 CIO 学会理事長)					

	<p>「第36回「ロード・パント」特別講演会」(「日本発デジタルレガシーへの挑戦～TOKYO2020で育んだ新技術～)</p> <p>・特別講演:栗山浩樹氏(NTT コミュニケーションズ 副社長:TOKYO2020 レガシー創造の軌跡と次代へ向けて)</p> <p>・基調講演:樋口昌之(NHK2020 東京オリンピック・パラリンピック実施本部副本部長:TOKYO2020 公共メディアとしての取り組み)</p> <p>&lt;パネルディスカッション&gt;(「スポーツで育んだ日本のデジタル化とは何だったのか)</p> <p>・モデレータ:関口和一氏((株)MM 総研代表取締役所長、元日本経済新聞社論説委員)</p> <p>・パネリスト:木下慎吾氏(NTT 人間情報研究所 所長:TOKYO2020 のスポーツ観戦再創造に向けた NTTR&amp;D のチャレンジ)、中野泉氏(NHK グローバルメディアサービス スポーツセンター担当部長:TOKYO2020 で見えたスポーツ視聴のこれから～NHKデジタルの挑戦～)、水口喜博氏(NEC東京オリンピック・パラリンピック推進本部長:安全・安心な東京 2020 大会の実現とその先の社会価値創造に向けたNECの取り組み)、藤原英則氏(富士通デジタルソフトウェア&amp;ソリューションBGスポーツビジネス統括部長兼東京オリンピック・パラリンピック推進本部:人の動きのデジタル化技術が生み出す世界～体操AI採点の取り組みと今後の展望～)</p>	12月 13日	明治記念館	9名	会場 31名	ネット配信:655名(延べ) (ライブ配信:315名、オンデマンド:340名)	
交流会・研究会・セミナーの開催1	「BA エグゼクティブサロン(座長:岩本理事長)」	4月 15日	NTTデータ 本社	5名	会場: 8名	1,173	ネット: 59名
	第142回:山田肇氏(東洋大学名誉教授、NPO 法人情報通信政策フォーラム理事長:「高齢者社会に対応したヘルスケア分野での ICT 活用」)				会場: 6名		ネット: 62名
	第143回:矢野亮氏(NTT データ戦略統括本部事業戦略室事業戦略担当部長:「感性 DX を実現する仮想脳「Neuro Ai」とビジネス創出」)				会場: 7名		ネット: 102名
	第144回:クロサカタツヤ氏((株)企 代表取締役 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授:「5G でビジネスはどう変わるか」)				会場: 3名		ネット: 80名
	第145回:藤井信英氏 (総務省情報流通行政局 地域通信振興課デジタル企業行動室 室長:「総務省における医療・健康等分野における取組」)				会場: 5名		ネット: 45名
	第146回:高瀬義昌氏(医療法人社団至高会たかせクリニック 理事長):「地域における高齢者の在宅療養支援」)				会場: 4名		ネット: 41名
	第147回:丸山俊一氏(NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー):「欲望の資本主義」)				会場: 3名		ネット: 73名
	第148回:出井京子氏(株式会社NTTドコモ ヘルスケアビジネス推進室長):「NTTドコモの ICT を活用した医療ヘルスケア事業戦略」)				会場: 4名		ネット: 84名
	第149回:村岡元司氏(株式会社NTT データ経営研究所 執行役員 パートナー):「グリーン×デジタル ビジネスの可能性」)						

	第150回:片岡正光氏(株式会社TBSホールディングス 事業投資戦略局事業投資戦略部 部長): 「事業投資を活用した成長戦略への取組」	3月 17日			会場: 名 ネット: 名	
	「BAクリエイターズサロン(座長:為ヶ谷秀一)」					
	新型コロナの関係で実施せず。		VIPO			
	「映像ビジネス研究会(座長:境真良)」					
	新型コロナの関係で実施せず。		VIPO			
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営2	「SPF公開フォーラム(委員長:森川博之)」 「第13回スマートプラットフォーム・フォーラム」 (「デジタルの日」の趣旨に賛同したイベントとして実施) テーマ「今後のローカル5Gの普及推進について」 ・基調講演Ⅰ:中尾彰宏氏(東京大学大学院教授、「ローカル5G普及研究会」委員長:「地域課題を解決するローカル5G普及活動について」) ・基調講演Ⅱ:池田満氏(総務省 情報流通行政局 デジタル経済推進室長):「ローカル5G普及推進に向けた今後の取り組み」 <パネルディスカッションⅠ:「ローカル5Gで花開くユースケース」> ・モデレーター:関口和一氏((株)MM総研代表取締役所長、元日経経済新聞社論説委員)、パネリスト:中尾彰宏氏、峰幸洋氏(東日本電信電話株式会社NW事業推進本部 設備企画部無線ビジネス推進PT担当部長)、藤本幸一郎氏(日本電気株式会社デジタルネットワーク事業部 上席事業主幹)、松本俊博氏(株式会社NHKエンタープライズ 取締役CDXO) <パネルディスカッションⅡ:「今後のローカル5Gの普及推進について」> ・モデレーター:中尾彰宏氏、パネリスト:藤本幸一郎氏、森大樹(富士通株式会社 5GVertical Service室 エグゼクティブディレクター)、クロサカタツヤ氏(株式会社企 代表取締役 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授)、石津健太郎氏(国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) Beyond5Gデザインイニシアティブ室長)	10月 13日	明治記念館	4名	参加者 会場: 19名  ネット配 信: 721名	942
交流会・研究会・セミナーの開催2	「ローカル5G普及研究会(委員長:中尾彰宏)」 ●令和3年度の国プロ開発実証(60億円)への応募、製品提供を支援する為、「研究会」・「実証試験WG」・「技術WG」が合同で行う「特別研究会」を4回実施し、各回参加者は100名を超えた。 ・第1回:R2の実証事例3件(東大1、NTT東1件、NEC1件)を紹介。 ・第2回:R2の実証事例2件(NTT東1件、NEC1件)、R3の実証に提供できる4社(森テック、APRESIA Systems、富士通、アルチザネットワークス)の製品を紹介。	特 別 研 究 会  第1回 4月30 日  第2回 5月11 日	WEB 会議 (Zoom)  WEB 会議 (Vcube)	2名  2名	参加者 109名  参加者 119名	1,412

交流会・研究会・セミナーの開催2	<p>・第3回:R2の実証事例2件(NTT東1件、NEC1件)、R3の実証に提供できる3社(エイビット、FCNT、電気興業)の製品を紹介。</p> <p>・第4回:R2の実証に提供できる5社(東陽テクニカ、トレンドマイクロ、Wenovator、住友電気工業、東京大学・NEC ネットエスアイ)製品を紹介。この活動の効果もあって、R3の国プロ実証採択26件の内14件が、本研究会参加メンバーが占めた。</p> <p>●第4回研究会は、オープンソース開発の動向を紹介するとともに、今年度の活動の方向性を見極める為に実施したアンケート調査結果を報告し、今後の活動の進め方について議論した。</p> <p>●【CEATEC 2021 ONLINE プレイベント】5G パネルディスカッションが9月16日に行われ、この中で中尾彰宏 委員長等が登壇し、「ローカル5Gが促す日本のデジタルトランスフォーメーション」のテーマでパネルディスカッションを行った。そのアーカイブ配信が11月末まで行われる。</p> <p>●ローカル5Gの普及には、システム価格だけでなく、無線局の免許申請等のハードルを下げる必要があると考えられ、この課題を検討する「アドホックWG(主査:石津健太郎(NICT Beyond5G デザインイニシアティブ 室長)、アドバイザー:田中征治(ICTサポート代表取締役社長、元総務省技術総括審議官)」を上げた。第1回では今後の進め方について議論し、免許制度だけでなく、ローカル5Gの普及の妨げとなっている導入検討からシステム運用にいたる課題を洗い出し、改善策を検討し、制度的なところは総務省に持って行くことになった。</p> <p>●ローカル5Gの広報活動を強化する為、</p> <p>・「ローカル5G普及研究会」の「ロゴ」の本格版を作成した。</p> <p>・「ローカル5G普及研究会」ページの本格版を、WordPressを使用し、FaceBookを内蔵した形式で作成した。</p> <p>・「ローカル5G普及研究会」ページを本格版「ロゴ」を取り入れた形式で6月27日にリニューアルし、情報発信を続けている。</p> <p>●第5回研究会は、新規会員(マクセル)の紹介、「アドホックWG」アンケート結果の説明、取組状況、参加企業(マクセル、エンブラス、日本アンテナ、OCC)の技術製品紹介を行った。</p> <p>●第6回研究会は、新規会員(日鉄ソリューションズ、楽天モバイル)の紹介、実証試験WGから「NTT東日本ローカル5Gラボの最新動向」、技術WGから「NEDO ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業の取り組み」の紹介、参加企業(日鉄ソリューションズ)の技術製品紹介を行った。</p>	<p>第3回 5月24日</p> <p>第4回 6月4日</p> <p>第4回 研究会 7月27日</p> <p>9月16日 ~ 11月末</p> <p>第1回 アドホック WG 9月17日</p> <p>4月~ 9月</p> <p>6月27日</p> <p>第5回 研究会 12月6日</p> <p>第6回 研究会 2月22日</p>	<p>WEB 会議 (Zoom)</p> <p>WEB 会議 (Zoom)</p> <p>WEB 会議 (Zoom)</p> <p>ネット 配信+ アーカイブ 配信 (Ycube)</p> <p>WEB 会議 (Vcube)</p> <p>WEB 会議 (Zoom)</p> <p>WEB 会議 (Zoom)</p>	<p>2名</p> <p>2名</p> <p>2名</p> <p>1名</p> <p>2名</p> <p>1名</p> <p>2名</p> <p>2名</p>	<p>参加者 100名</p> <p>参加者 119名</p> <p>参加者 94名</p> <p>参加者 4名 視聴者 1,314名</p> <p>参加者 18名</p> <p>視聴者: 数千名</p> <p>参加者 98名</p> <p>参加者 82名</p>
------------------	--	--	--	---	--

交流会・研究会・セミナーの開催2	「SPF 健康医療分科会(主査:坪井俊明)」	4月20日	WEB会議 (Zoom)	2名	参加者 8名
	<p>●「高齢者生活支援ICTサービス研究会」発足に向け、進め方について適宜議論すると共に、4月20日に第三回高齢者生活支援ICTサービス研究会準備会を開催した。</p> <p>・「AI・IoTを活用した科学的介護による自立支援プラットフォームの展望」山岡 勝氏(パナソニック株式会社イノベーション推進部門 テクノロジー本部事業開発室スマートエイジングプロジェクト)</p> <p>・「コミュニケーションロボット PALRO(パルロ)のご紹介」杉本直輝氏(富士ソフト株式会社 プロダクト事業本部 PALRO 事業部 事業部長)</p> <p>●研究会の進め方に関して、以前から健康医療分科会のメンバーである人達と意見交換を行った。</p> <p>●6月4日と同じメンバーで。キャノンの医療への取り組み状況の紹介と今後の活動内容について意見交換を行った。</p> <p>●NTTサービス総合研究所 大野友義所長との意見交換を山田先生も同行していただき行った。高齢者生活支援ICTサービスは意義はあると思うが、ビジネスモデルが難しいためドコモの時は手を出さなかったとの事でした。</p>				
6月4日	Web会議 (V-cube)				
	7月14日	Web会議 (V-cube)	2名	参加者 5名	
	10月29日	対面打ち合わせ	2名	参加者 4名	
	「SPF サービス・WEB 分科会(主査:木浦卓治)」	5月22日	ネット	1名	参加者: 約200名
	<p>W3C Agriculture CGの委員長である木浦卓治氏(農研機構)が「サービス・WEB 分科会」の主査を兼務し、農業分野の WoT の国際標準化に向けた活動を、外部環境をウオッチしながら進めている。</p> <p>・農業情報学会 2021 年次大会にてシンポジウム「ポスト Covid-19JIDAINI に向けた農村ビジネスの変革 -ビッグデータ、AI、5G、IoT/WoT」をオンラインで開催した。</p> <p>・WoT の国際標準は非常に柔軟なフレームワークを提供しており、単に農業分野での WoT の連携をカバーするだけでなく、比較的小さなステークホルダーが多く存在している農業情報サービスを連携させることができる可能性を秘めている。このため、以前より WoT と連携して活動してきた。昨年、日本語で WoT に関して情報を交換できる W3C の CG である WoT-JP が発足し、活発に活動していることから、本分科会メンバーが WoT-JP に参加し、WoT-JP に集中することで本分科会を発展的に解散させる方向で検討している。同様に、W3C の Agriculture CG の活動についても WoT に集中して発展解消する方向で検討中である。</p>				

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の実績(千円)
	実施しなかった					